

第5回 ふくまる夢たまごセミナー



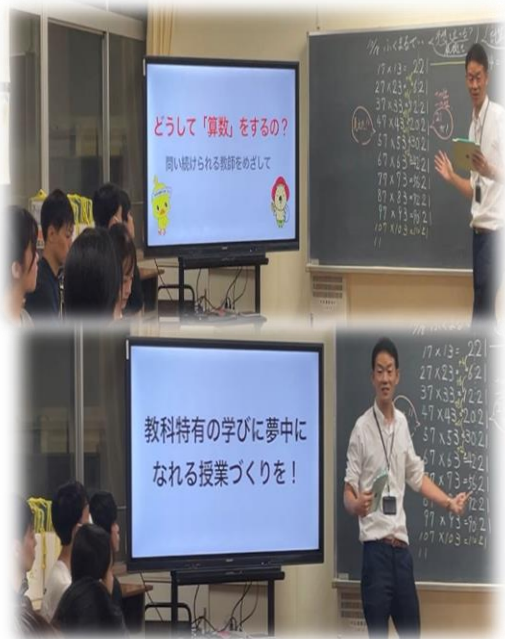
日 時	10月18日(金) 18:00~20:00
場 所	市庁舎7階大会議室
内 容	おもしろ授業実践 【前編】「算数科」 講師 松波 典和 氏 (池田市立秦野小学校 指導教諭) 【後編】「体育科」 講師 越智 裕 氏 (豊能地区教職員人事協議会 指導主事)

『教科特有の楽しさ』をめざして

今回のセミナーは、池田市立池田小学校の教室と体育館をお借りし、実施しました。

前編の「算数科」では、黒板に書かれた2桁×2桁のかけ算の答えについて、できるだけ筆算を使わずに答えを求めるための解き方や法則(きまり)について、考えを交流しました。塾生は、法則を見抜くことに時間はかかっていましたが、法則に気づいた塾生の考え方をあえて言葉ではなく、ジェスチャーで伝え合うことで「あっ」と、法則に気づいたり、発見したりする様子が見受けられました。各々の解き方を見つけてからも、それを交流することで、新たな考え方を見出し、楽しみながら学びを深める姿がありました。

今回のセミナーを通じて、子どもたちの「あっ!」という気づきを生み出すための問いかけや子どもたちの「やってみたい!」を引き出す教科特有の学びに夢中になる授業の大切さを改めて感じる時間となりました。



体育（表現運動）×音楽＝？

後編の「体育科」は、体育館で実施しました。

塾生は、体育科の授業の導入として、越智先生の指導のもと、「リズムジャンプ」に挑戦しました。軽快な音楽に合わせて、床に置いたバーを跳び越しながら、順々に難くなる動きの条件をクリアしていく楽しさを体験しました。

また、体育の授業において、「できない」という苦手意識を持つ子が多く存在する中で、シンプルな「跳ぶ」動作だけでも、音楽に合わせて、活動を展開していくことにより、受け捉え方が大きく変化することを知りました。

リズムに合わせて体を動かし、できなくても「楽しむこと」やチームワークで成し遂げる体験を通して、「一人では出来なくても、みんなとなら・・・」という達成感を味わう時間となりました。

<塾生の感想から>

○松波先生の算数授業は、子どもに予想させ、違いや共通点を見つけさせる授業でした。子どもに積極的に気づきの場を与えることで「やりたい、やってみたい」につなげる工夫がとてもおもしろかったです。越智先生の体育実技では、音楽を流しながら、体をリズムに合わせて動かすリズム運動でした。身体の動きと音楽を合わせることで、とてもおもしろい活動に変わることに驚きました。

○今日のセミナーでは、どちらの教科（算数・体育）も「できなくても良い」という言葉を何度も聞き、とても安心して受けることができました。松波先生も越智先生も「分からない、できない。」が「分かった、やってみたらできた!」に変わった瞬間をととても大切にしてくださり、その環境が安心感につながったのかなと思いました。

